

■車輻規定	・各クラスの車輻規定によります。
エンジン仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ターボやロータリーの排気量係数は以下とします。 ターボ/スーパーチャージャー 排気量 ×1.5=参加排気量 エリゼ/エキシージ 排気量 ×1.2=参加排気量 ザウルスなどのカスタム 排気量 ×1.4=参加排気量 ロータリー 排気量 ×2.2=参加排気量
ボディ仕様	・各クラスの車輻規定を参照。
ロールケージ	<ul style="list-style-type: none"> ・6点式以上のロールケージ装着を極めて強く求めます。クラス規定を優先し、義務とする場合があります。 ・サイドバーの装着を極めて強く推奨。 ・ドア素材をオリジナルの鋼板から軽量化素材、または、低強度素材に変更した場合、サイドバーの装着が義務。
ロールケージの構造材	<ul style="list-style-type: none"> ・外径 40mm/ 肉厚 2.0mm 以上とし、冷間引き抜きの継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください。 ・クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA 規定の外径 40mm/ 肉厚 2.0mm を適用します。 ラリーアート規定の外径 38.1mm、肉厚 21.6mm 鋼材の使用が可。
ロールケージの装着	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼材の検査のために直径 5mm の穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲ってください。 ・溶接による装着を強く推奨。 ・ボルトオンの場合、厚さ 3mm 以上、面積 120cm² の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材 / サイズで、ボディ床部を上下から挟み込むように（オスボルトは下から上へ通す）設置してください。 設置のボルトは、8mm 以上の 4T ボルトとし、4 本以上のボルトによって固定してください。 ・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着してください。 ・前後バルクヘッドの貫通が可。その場合、貫通口の隙間は不可とします。
サイドバー の鋼材	・ロールケージと同様の鋼材を使用。アルミ素材は不可。・サイズは、外径 38mm/ 肉厚 2.5mm 以上必要です。
シートベルト	<ul style="list-style-type: none"> ・FIA 基準 8856-2000 規格の 4 点式シートベルトの装着を義務とする。 ・耐用年数は、製造表記より 5 年です。
灯火類	・ストップランプ、テールスモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要。
バッテリー	・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全に隔離することが必要。
オイルキャッチタンク	・内容量 2 リットル以上のオイルキャッチタンクの装着が義務。その際、内容量を確認できることが必要。
消火器	<ul style="list-style-type: none"> ・1kg 以上の容量を持つ消火器の設置を強く推奨。・3kg 以上の容量を強く推奨。 ・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消火できることが望ましい。または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることが必要。その取付けは、横転時においても離脱しないことが必要。
キルスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・キルスイッチの装着を強く推奨。 ・取り付け位置は、車輻前部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内。 ・車内の設置においては、運転者が操作可能であることが必要。
排気音量	・各サーキットの基準に適合することが必要。
タイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤサイズは問いません。ただし、車体からはみ出しは禁止です。 ・スリップライン（1.6mm）以下の溝となったタイヤの使用は不可。 ・SupercupSS、および、SuperZ クラスを除き、一般的に市販されているラジアルタイヤのみ使用が可。 ・ラジアル構造であってもスリックタイヤ、やドライ路面におけるレインタイヤの使用は不可。 ・タイヤサイズは問いません。ただし、装着時にタイヤ上部が車体からはみ出しは不可。 ・ウォーマーの使用、および、人的作用を含むクールダウン、溶剤塗布は禁止です。 ・一切の加工が不可。 ・使用可能本数は、予選/決勝を通じて 1 セット（4 本）の使用が可。 ただし、パンクなどやむを得ない場合は、主催者の許可を得た後に追加使用が可。 ウエット路面の場合、1 セットのみ交換追加が可能。
バッテリー	・純正装着位置の変更は可。・電圧の変更は不可。
ウインドウ素材	<ul style="list-style-type: none"> ・フロントウインドウを除くウインドウのアクリル化が可。ただし、クラスごとの規定が優先。 一部車輻において、フロントウインドウのポリカーボネートへの交換を認めます。 その場合は必ず事前に事務局への連絡が必要。 ・フロントウインドウへの加工を行う場合は、事前に事務局への連絡が必要。現車確認後、別途誓約書の提出を依頼する場合があります。

車輻規定は各クラスごとに設定されている項目が優先されます。

スプリント車輻規定 -1
項目は随時更新する場合があります